

# 結城市協働のまちづくり推進計画 平成 28 年度事業実績

## 1. 重点事業

指針の施策	事業・取り組み	主管課	実施状況及び今後の計画	今後の方向性	目標となる指標	27年度の状況	28年度	
							目標値	実績値
1 協働のまちづくりに係る啓発に関すること	1 協働のまちづくりホームページの作成	市民活動支援センター	協働のまちづくりに関する市民の関心を高めるため、市のホームページに、市民活動に対する助成事業や活動事例などの情報を掲載したコーナーを設け、積極的な情報発信に努める。	継続	・月平均アクセス数	216	500	211
	2 協働のまちづくり啓発コーナーの設置	市民活動支援センター	公共施設等に、協働のまちづくりに関する事業のパンフレットや、市民団体の活動資料などを常置するコーナーやブースを設置し、啓発活動を促進する。	継続	・設置箇所 ・設置枚数(種別)	11箇所 8種類	11箇所 8種類	11箇所 8種類
3 市政への参画機会の提供に関すること	1 ふれあい出前講座事業	市民活動支援センター ・講座担当課	市民の学習機会の充実を図るとともに、市政に関する理解を深めるため、自治会や市民グループが開催する集会等に市職員が出向き、市の事業等に関する説明を行う。	継続	・講座実施回数	33回	70回	44回
4 人材の育成及び活用に関すること	1 まちづくり講座の開催	市民活動支援センター	協働のまちづくりの担い手を増やすため、市民を対象に、まちづくり活動のノウハウ等に関する講座を開催する。	継続	・開催回数	1回	4回	2回
5 市民活動のための支援に関すること	1 市民活動支援センター設置運営事業	市民活動支援センター	市民団体等の活動を支える拠点施設として、情報発信やネットワークの形成などを進め、市民活動の活性化を図るために、「市民活動支援センター」を設置する。あわせて、まちづくり活動団体の設立及び運営の支援を行う。	継続	・センターの設置 ・まちづくり活動団体数	40団体 個人5人	37団体	46団体 個人6人
	2 協働のまちづくり推進事業補助金制度	市民活動支援センター	市民の多様な発想を活かし、市民活動の活性化を促すため、市民団体等が自主的・自発的に行う公益的な事業に対し、経費の一部を補助する。	継続	・補助件数	9件	15件	9件
	3 環境美化パートナーシップ事業	市民活動支援センター	市民団体等が、市との合意により、道路、公園等の清掃・除草等の管理を行い、市は必要な支援を行うことにより、環境美化意識の向上と地域コミュニティの活性化を推進する。	継続	・合意団体数	36団体	38団体	37団体
	4 コミュニティ活動支援事業	市民活動支援センター	地域住民が自主的に行うコミュニティ活動及び活動の拠点整備に対し、コミュニティ組織の要望に基づき(財)自治総合センターの助成を受けるための支援を行う。	継続	・助成件数	1件	1件	1件
	5 地域防犯ボランティア支援事業	防災安全課	青色回転灯購入補助事業を拡充し、市の委嘱を受けた地域団体(自治会等)が、徒歩、または自己車両により継続的に地域防犯パトロール活動を実施するために必要な資機材購入費用の一部を助成する。さらに、活動団体の連絡会議を設立する。	継続	・活動団体数 ・連絡会議の設立及び開催	10団体 -	13団体 会議設立	10団体 -

指針の施策	事業・取り組み	主管課	実施状況及び今後の計画	今後の方向性	目標となる指標	27年度の実績	28年度	
							目標値	実績値
5 市民活動のための支援に関すること	6 独居老人ふれあい事業	社会福祉課	ボランティアの協力により孤独になりがちなひとり暮らしの高齢者を対象に、電話による定期的な安否確認を実施している社会福祉協議会に対し、補助金を支出し、支援を行っている。 (H28年度から調理配送を行う宅配求職活動を廃止)	一部廃止	・ボランティアの人数	電話12人	電話12人	電話12人
	7 ブックスタート事業	ゆうき図書館	絵本を配布し、家庭での絵本を活用した親子のふれあいを通じて赤ちゃんの可能性を伸ばす事業である。実施に際しては、検診時にボランティアによる読み聞かせを行っている。今後は、ボランティアを募集し増員を図る。 (H28年度から子ども福祉課からゆうき図書館に変更)	継続	・ボランティアの人数	16人	16人	16人
	8 ファミリーサポートセンター事業	子ども福祉課	住民相互の支えあいを目的として、サービスを提供する方とサービスを利用する方が会員登録し、必要な時に有償で子育ての支援を行う。	継続	・登録会員数	262人	200人	312人
	9 子育てサークルへの支援	子ども福祉課	子育て中の保護者(母親等)の孤立感を解消するため、子育て中の保護者がサークルを組織し活動する事業である。市はサークル活動に対する支援を行うとともに、今後は、サークル立ち上げの支援を行う。	継続	・グループ数	3グループ	5グループ	4グループ
	10 地域環境クリーン作戦	生活環境課	不法投棄されている場所は、ほとんどが山林や空き地であり、原則として所有者が管理することになっている。しかし、所有者も被害者であり、個人で廃棄物を撤去するのは困難であると考えられることから、地元自治会や所有者及び市が協力して清掃活動を行う。これにより地元の監視の目が厳しくなることで、不法投棄されにくいまちづくりを目指す。	継続	・清掃活動箇所	未実施	市内不法投棄箇所(1箇所以上)	未実施
	11 図書館ボランティアの活用	ゆうき図書館	利用者に図書館への理解を一層深めてもらうとともに、図書館自体の活性化と開かれた運営を目指すため、ボランティアを募集し業務の一部(資料の配架、書架整理)を依頼している。今後も随時募集を行いつつ、現状の活動内容に加え資料の修理を行うなど活動の幅を広げていく。	継続	・ボランティア参加人数	10人	20人	10人
	12 イベント等への市民の参画	各課	協働のまちづくりを推進するため、市で主催するイベント等について、積極的に市民参画の手法を用いる。	—	※ 事業・取り組み毎に設定			
	1 市民スポーツレクリエーション祭	スポーツ振興課	体育の日のイベントとして開催している。新しい軽スポーツ等を導入し、その体験を通じ市民一人1スポーツの普及・健康づくりの一役を担う。運営は実行委員会が行い、市は用具等の支援を行う。	継続	・新しい軽スポーツの導入種目数	1種目 (ノルディックウォーキング)	1種目	1種目
	2 結城シルクカップロードレース大会	スポーツ振興課	参加者相互の親睦を深めるとともに、スポーツの発展向上を図る。大会の開催にあたり、市内各団体に競技役員を依頼し、ボランティアにより大会運営を支えることにより、結城の知名度とイメージの向上を図る。今後も各団体に役員の協力要請を行い、増員を図る。	継続	・競技役員数	367人	320人	374人

## 2. 一般事業

指針の施策	事業・取り組み	主管課	実施状況及び今後の計画	今後の方向性	目標となる指標	目標数値等 (平成28年度)	平成28年度の状況
1 協働のまちづくりに係る啓発に関すること	1 広報紙・お知らせ版の発行	秘書課	市政に対する市民の理解と協力を高めるために、コミュニケーションの媒体として広報結城・お知らせ版を発行し、自治協力員を通じて概ね9割の世帯に配布している。 今後も「協働のまちづくり」特集などの掲載を行なうとともに、創意工夫により市民が真に求める広報紙づくりを進めるため、市民記者の継続を検討する。	継続	・協働のまちづくり記事掲載回数 ・市民記者記事掲載回数	・協働関係記事6回 ・市民記者記事6回	・協働関係記事4回掲載 ・市民記者設置せず
	2 協働のまちづくり講演会の開催	市民活動支援センター	協働のまちづくりに関する市民の関心を高めるため、協働のまちづくりをテーマとした講演会を開催する。	継続	・講演会開催回数 ・参加人数(規模)	1回 100人	1回 42人
	3 職員研修の実施	市民活動支援センター	協働のまちづくりに関する職員の意識を高めるため、本計画において作成する「協働のまちづくり推進マニュアル」等を用いて、市民との協働の手法や留意点等に関する研修を実施する。	継続	・実施回数	1回	1回
2 協働のまちづくりを推進する体制を整備すること	1 コミュニティ活動推進部門の設置	市民活動支援センター	市民と協働のまちづくりの円滑な推進及び実現のため、庁内に市長を本部長とする「協働のまちづくり推進本部」とその下部組織である「協働のまちづくりプロジェクト推進チーム」を設置し、各種施策等の導入と推進を図る。	改善	・開催回数	3回	0回
3 市政への参画機会の提供に関すること	1 市長と語る対話集会の開催	秘書課	市長がそれぞれの地域を訪問し、市政について直接市民の声を聴取して市政に生かすことにより、小さくてもきらりと光るまちづくを実現させるために、「市長と語る対話集会」を開催している。	継続	・開催回数	年3回	年2回
	2 情報公開の拡充	総務課	平成12年度に情報公開条例が施行され、市民の知る権利を保障し、開かれた市政の実現に努めているが、市が出資、出えん又は援助をしている出資法人では、情報公開に関する規程を設けていない法人があるので、運営に関する透明性の確保や市民への理解を図るため、その保有する情報を公開する規程の整備を推進する。	継続	・出資法人における情報公開制度の整備	5法人に整備	3法人が整備済。残り2法人は整備検討中
	3 男女共同参画講演会等の開催	市民活動支援センター	市民の男女共同参画への理解と意識の高揚を図ることを目的として、市民と協働で企画し講演会等を開催する。	継続	開催回数	8回	6回
	4 男女共同参画啓発誌「たまま〜ゆ」の作成	市民活動支援センター	ゆうき女性会議(市民)と男女共同参画ワーキング会議(行政)が、男女共同参画に関する身近な事柄や問題をテーマに取り上げた冊子を作成し、啓発活動に活用する。	継続	・作成部数 1,000部(随時)	平成28年度作成予定	たまま〜ゆ Vol.3 1000部
	5 協働のまちづくり市民会議の開催	市民活動支援センター	協働のまちづくりに関する事業や取り組みを計画的に推進するため、「協働のまちづくり市民会議」を設置する。定期的に開催し具体的な協議を行うことにより、市政への市民参画の拡充を図る。	改善	・開催回数	3回	0回

指針の施策	事業・取り組み	主管課	実施状況及び今後の計画	今後の方向性	目標となる指標	目標数値等 (平成28年度)	平成28年度の状況
3 市政への参画機 会の提供に関する こと	6 安全で安心な街づくり ワークショップの開催	都市計画課	安全・安心の街づくりに向け、公園・道路・景観等について、市民参加によるワーク ショップを開催する。	継続	・開催回数 各3回/年 (～平成27年度)	-	0回
	7 審議会等会議の公開・ 委員の公募	各課	市民の市政への理解と信頼を深め、市民参加による開かれた市政を促進するととも に、市民の意見を市政に反映させるため、会議の公開・委員の公募制度を推進す る。	継続	・会議の公開比率	原則公開	原則公開
	8 パブリックコメント制度の 導入	各課	計画や条例等について、市民からの意見を反映させるため、事前にその案を市民 に対して公表し、市民の意見や提案を募集するとともにその意見を政策の意思決定 をする際に考慮するパブリックコメント制度を導入する。	継続	・意見募集案件 ・提出された意見数	平均5人 (10件)	募集案件6件 5人(16件)
	9 計画等作成段階での 市民アンケート・公聴 会の実施	各課	多くの市民の意見を取り入れた各種計画の策定及び事業の立案を行うため、策定 の段階で市民アンケートや公聴会を実施する。	-	※事業・取り組み毎に設定	※ 事業・取り組 み毎に設定	
	1 第2次男女共同参画 基本計画の進捗状 況調査及び評価	市民活動支 援センター	公募や市民団体等から推薦された市民を中心に組織された基本計画推進委員会 において、男女共同参画社会の実現を目的として平成23年度から平成32年度ま でを計画期間とした男女共同参画基本計画施策事業の進捗状況について、審議・ 検討する。	継続	・計画の目標値達成事業割合	80%	61%
	2 地域福祉計画策定 事業	社会福祉課	地域福祉の推進を図る地域福祉計画の策定にあたり、市民の福祉に関する意識を 調査するアンケートを実施し、多くの市民の現状・意見を把握するとともに市民との 意見交換会である地域懇談会を実施する。	継続	・計画策定年度 H29 ・市民アンケートの実施数 1回 ・地区懇談会の回数 0回	推進委員会1回	推進委員会1回
4 人材の育成及び 活用に関すること	1 リーダー養成講座の 開催	市民活動支 援センター	協働のまちづくりを推進するには、市民活動団体のリーダーの養成が必要不可欠 であるため、NPOをはじめとする市民活動団体の設立及び運営ノウハウに関する講 座を開講する。	継続	・開始時期 ・開催回数 ・受講者数	1回	0回
	2 ヤングボランティア組織 化	生涯学習課	ヤングボランティアの組織化に向けて、市内の中学校と3高校に(結城一高・結城二 高・鬼怒商高)に呼びかけを行い、体験活動を実践しながら、参加者の増加を目指 す。	継続	・中・高校生の参加人数	70人	61人
	3 コミュニティビジネス 支援事業	市民活動支 援センター	地域コミュニティにおける課題解決につながるビジネスの立ち上げを促進するため、 コミュニティビジネスの創業に係る情報の提供等の支援を行う。	継続	講座回数	1回	1回

指針の施策	事業・取り組み	主管課	実施状況及び今後の計画	今後の方向性	目標となる指標	目標数値等 (平成28年度)	平成28年度の状況
5 市民活動のための支援に関すること	1 コミュニティセンター管理運営事業	市民活動支援センター	市民のコミュニティ活動及び交流の場として活用されているコミュニティセンターは、自治会で構成された運営委員会に管理を委託している。運営委員会では、管理のほかに、まつりの開催など地域の交流活動も実施している。今後も利用の促進を図るため、コミュニティ活動の充実に努める。	継続	・委託箇所	3箇所	3箇所
	2 国際交流推進事業	企画政策課	市民の国際理解を促し、国際感覚あふれた人材の育成に努めるため、結城市国際交流協会を支援し、協会の活動を通して国際交流事業を推進する。 (H28年度から結城市国際交流友好協会から結城市国際交流協会に変更)	拡充	・会員数 ・事業実施回数	40人・40団体 年6回	32人・18団体 年0回
	3 公有財産の活用	契約管財課	自治会など公共性の高い団体が、市の所有する建物や公有地を市民活動を行う目的で使用する際に、建物の保全や敷地の除草・清掃を行う場合、市は無償貸与を行う。	継続	・貸付箇所	2箇所	0箇所
	4 駅前子ども広場運営事業	子ども福祉課	子育て中の保護者の交流や情報交換、心身のリフレッシュを図るため、駅前子ども広場設置した。その運営に参加するボランティアグループの活動を支援する。	継続	・参加ボランティア延人数	780人	788人
	5 食生活改善地区組織活動事業	健康増進センター	「自分達の健康は自分達の手で」をスローガンに、正しい知識、技術をもって、まず自らよりよい健康生活の実践者である食生活改善推進員が、正しい食生活の普及浸透を図り、地域住民の健康保持増進を積極的に推進することを目的とし、自己研修会、自主活動、啓発活動、市事業への協力などの事業を実施する。	拡充	・食生活改善推進員数	80人	食生活改善推進員数52人 活動回数:86回 参加推進員延人数:866人
	6 障害者社会参加促進事業「流れ星ボランティアの会」	健康増進センター	心に病をもつ人の活動の場づくりや日常生活の支援を行っている。市ではフォローアップ研修を実施しており、今後はボランティアの増員を目指す。	拡充	・ボランティア数	9人	精神保健福祉ボランティア12名により市の精神デイケア等の事業にボランティア協力を実施。(精神デイケア50回・108名協力、ふれあい福祉のつどい4名協力、精神保健福祉市民
	7 運動普及推進員地区組織活動事業	健康増進センター	市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため、運動普及推進員を支援し、地域住民の健康づくりを推進する。今後はボランティアの増員を目指す。	拡充	・運動普及推進員数	70人	平成28年度に6人の推進員養成を実施。現在は46人で活動。

指針の施策	事業・取り組み	主管課	実施状況及び今後の計画	今後の方向性	目標となる指標	目標数値等 (平成28年度)	平成28年度の状況
5 市民活動のための支援に関すること	8 シルバーリハビリ体操指導士(ボランティア)への支援	長寿福祉課	茨城県が養成しているシルバーリハビリ体操指導士は、地域の高齢者や低体力者に対して介護予防・リハビリ体操の知識の普及と実技指導を行い、健康づくり支援を実施している。今後も、体操指導士の増員を図る。 (H28年度から健康増進センターから長寿福祉課に変更)	拡充	・シルバーリハビリ体操指導士数	100人	66人
	9 介護予防サポーター(ボランティア)への支援	長寿福祉課	平成18年度から養成研修会を実施している介護予防サポーターは、地域の高齢者(特に、生活機能が低下している高齢者)の生きがいつくりや健康づくりを支援するボランティアであり、介護予防事業の支援活動を行っている。今後も、地域の介護予防支援のため増員を図る。 (H28年度から健康増進センターから長寿福祉課に変更)	拡充	・介護予防サポーター数	40人	27人
	10 ボランティアガイド協会活動の支援	商工観光課	観光客に対して、市内の史跡等の説明や随行をする他、物産センターで観光案内を行う。また、自主事業として、七福神めぐり等を実施する。他に、JRと観光協会が協同で主催する「駅からハイキング」においては、ガイド協会員が史跡等で説明を行う。市は事務局として、コース設定等の活動支援を行う。	拡充	・ガイド協会員数	25人	20人
	11 市道側溝清掃事業	土木課	道路側溝の清掃は要望箇所が多く、すべてに対応できない状況下で、自治会が自発的に地域の道路側溝の清掃を行う際に、市では道具の貸し出し及び汚泥の処分など、状況に応じた支援を行う。	継続	・活動団体数	10団体	0団体
	12 公園維持管理事業	都市計画課	公園愛護協会が行う、公園の低木等の樹木愛護と除草清掃及び公園施設の点検連絡等の活動に対し、市は必要な支援を行う。	拡充	・公園愛護協会団体数	40団体	40団体
	13 花とみどりのまちづくり推進事業	都市計画課	花と緑の街づくりの一環として、結城市花づくりの会をはじめ、各町内会、老人会等に原材料等を支給し、公園や花壇、駅前や主要道路の緑化活動を依頼する。	継続	・花づくりの会による花壇数 ・市民による花壇数 ・市職員による公共施設数	・3箇所 ・9箇所 ・11施設	・3箇所 ・9箇所 ・11施設
	14 歩行者専用道路花壇等管理事業	区画整理課	地元町内会等が行う、歩行者専用道路(都市計画道路 南部1号線8・7・1 南部2号線8・7・2 全線2.88km)の環境美化を進めるための花壇(植栽含む)の管理などの活動に対し、市は必要な支援を行う。	継続	・協定会団体数	2団体	2団体
	15 子どもを守る家の登録推進	生涯学習課	青少年育成結城市民会議と市が、事件や災害から子どもたちの身の安全を守るため、一般家庭や事業所等の協力を得て、緊急避難所「子どもを守る家」を依頼し、登録している。今後は、登録軒数の増加を目指す。	継続	・登録軒数	800軒	723軒
16 花いっぱい運動の推進	生涯学習課	環境美化意識を高め、美しい地域づくりの促進を目的に、地域の子供会や自治会等に花の種を配布している。また、花いっぱい運動コンクールへの参加も積極的に推進していく。	継続	・種子の配付件数 ・ユリ球根配布件数	・15件 ・市内市立小学校新入学児童数分	・4件 ・426人	

指針の施策	事業・取り組み	主管課	実施状況及び今後の計画	今後の方向性	目標となる指標	目標数値等 (平成28年度)	平成28年度の状況
5 市民活動のための支援に関すること	18 イベント等への市民の参画	各課	協働のまちづくりを推進するため、市で主催するイベント等について、積極的に市民参画の手法を用いる。	—	※事業・取り組み毎に設定	※事業・取り組み毎に設定	
	1 自然にわくわく	市民活動支援センター	男女共同参画を推進している市民団体「ゆうき女性会議」が地域振興への取組みの一つとして、子ども達の地域への愛着と豊かな心を育てることを目的に里山で子ども達が自然とふれあうイベント「自然にわくわく」を開催する。市は、イベント開催に対し広報などの支援を行う。	継続	・参加人数	60人	48人
	2 市民一斉クリーン作戦	生活環境課	環境衛生協議会が主体となり、自治体単位で市内の道路際や公園等の清掃を一斉に実施する。市は、ごみの回収等の支援を行っている。市民全体で行う「まちをきれいにする運動」を定着させていく。	継続	・参加自治会数	年1回 全自治会参加	年1回 全自治会参加
	3 農業祭(共進会)	農政課	農業祭(共進会)を開催し、市内の農産物の品評会・即売会等を行い、団体の交流を図りながら消費者との意見交換を実施して、農業後継者が将来に向けて、安定した農業経営が健全にできるよう育成支援する。今後は参加団体・出展農家数の増加を図る。	継続	・実行委員会 ・参加団体(出店者) ・共進会への出展農家数	年6回 10団体 100戸	年6回 7団体 70戸
	4 あやめ祭り	農政課	転作事業の一環として、平成15年から山川不動尊東側に、地域住民をはじめ多くの市民や観光客の憩いの場としてあやめ園が整備され、山川不動尊東あやめ祭り実行委員会により毎年あやめ祭りが開催されている。今後は、ボランティアなどを募りながら新たな管理方法を模索して参加団体や地元住民の協力をえて参加増を図る。	継続	・実行委員会 ・参加団体(出店者) ・地元住民の参画	年1回 8団体 150人	年1回 イベント中止
	5 祭りゆうき	商工観光課	市民参加及び三世代参加により市民が楽しむことを目的に、踊りを核とした祭りの定着化を目指す。観光協会事業部会を中心に実行委員会が組織され、踊り手や青空市出展者等を市内外から募集するなど、多くの人が参加できる企画を検討し、事業を開催する。市は、イベント開催事業に対する補助及び広報などの支援を行う。	拡充	・踊り手の参加団体数 ・実行委員数 ・入込客数	80団体 40人 5万人	111団体 45人 4万5千
	6 結城盆踊り大会	商工観光課	地域や世代間の交流及び活性化を図る「結城盆踊り大会」の開催にあたり、観光協会が実行委員会を組織し、企業からの協賛金等により事業を開催する。市は事務局として踊り手募集等の広報などの支援を行う。	拡充	・踊り手の参加団体数 ・実行委員数 ・入込客数	25団体 20人 8千人	23団体 16人 2千5百人
	7 ホテル祭り	下水道課	下水道事業の環境対策と普及促進のため、きぬ川ふれあい広場の完成に伴い平成8年度から市と中自治会が開催し、16年度に林自治会が参加して、18年度からは絹川地区7自治会が参加するようになった。今後は、地元自治会の実行委員会が主体となってイベントの運営を行えるよう、市は活動の支援を行う。	継続	・実行委員会開催回数 ・入込客数	2回 5400人	1回 4500人
6 協働のまちづくりを推進するためのルールを確立すること	1 協働のまちづくり推進マニュアルの作成	市民活動支援センター	協働のまちづくりを全庁的に推進するため、協働に関するマニュアルを作成し、市職員に対して浸透を図るとともに、市ホームページに掲載し市民へ周知する。	継続	・作成時期	平成26年度 作成予定	平成28年度 作成